



TAKEUCHI



株式会社竹内製作所
2009年2月期 決算説明資料

証券コード：6432

2009年4月22日



I. 09年2月期 決算概要

II. 10年2月期 見通し

III. 今後の市場見通しと重点取組み

IV. 企業理念

[参考]: 製品ラインナップ、売上高、経常利益率の推移

◆ポイント

世界経済の急速な減速を受けて欧米の需要は大幅に減速

➤ 販売台数は、**35.1%減**（対前期）

・中国・ロシア向けは増加

➤ 連結売上は、**37.9%減**（対前期）

原材料価格の高止まりによる製造原価の上昇に加えて円高の進展もあり、9割減益

➤ 粗利率は、**21.6%**（対前期▲3.9%ポイント）

➤ 経常利益は、**93.3%減**（対前期）

I. 09年2月期 決算概要

TAKEUCHI

◆ 連結業績

(百万円)

	09/2期 実績	08/2期 実績	対前期 伸び率	対修正予想 増減額	09/2期 修正予想 (10月時点)
売上高	52,424	84,360	▲37.9%	▲4,376	56,800
営業利益	5,000	12,672	▲60.5%	500	4,500
経常利益	714	10,661	▲93.3%	▲2,996	3,710
当期利益	▲1,492	6,485	—	▲3,722	2,230
設備投資額	1,979	1,782	11.1%	▲121	2,100
減価償却費	1,049	1,129	▲7.1%	▲3	1,052
円 / 米ドル	102.81	117.71			104.81
円 / ポンド	190.58	235.96			198.36
円 / ユーロ	152.07	161.99			155.28
円 / 人民元	14.84	15.51			15.21

I . 09年2月期 決算概要

◆ 地域別売上高と受注高

(百万円)

	09/2期		08/2期		対前期 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
日本	1,814	3.5%	2,386	2.8%	▲572
北米	13,964	26.6%	25,122	29.8%	▲11,158
欧州	33,037	63.0%	53,392	63.3%	▲20,355
その他	3,608	6.9%	3,459	4.1%	149
売上高	52,424	100.0%	84,360	100.0%	▲31,936
海外売上高	50,610	96.5%	81,974	97.2%	▲31,364
受注高	43,011		81,062		▲38,051
受注残高	2,652		11,903		▲9,251

(※) 受注高及び受注残高は、建設機械事業

I . 09年2月期 決算概要

◆ 所在地別セグメント情報

(百万円)

		09/2期	08/2期	対前期 増減額
日 本 (本 社)	売 上 高	25,022	38,306	▲13,284
	営 業 利 益	2,283	10,643	▲8,360
北 米 (米国竹内)	売 上 高	11,511	22,170	▲10,659
	営 業 利 益	787	1,841	▲1,054
欧 州 (英国竹内、 フランス竹内)	売 上 高	13,875	22,722	▲8,847
	営 業 利 益	301	1,126	▲825
ア ジ ア (竹内青島)	売 上 高	2,015	1,160	855
	営 業 利 益	▲153	▲51	▲102

I . 09年2月期 決算概要

◆ 連結貸借対照表

(百万円)

	09/2期末	08/2期末	対前期増減額
流動資産	29,576	51,929	▲22,353
現金及び預金	3,060	7,412	▲4,352
受取手形及び売掛金	6,098	16,781	▲10,683
たな卸資産	18,344	23,100	▲4,756
その他	2,074	4,636	▲2,562
固定資産	9,416	10,831	▲1,415
資産合計	38,992	62,760	▲23,768
流動負債	9,580	28,924	▲19,344
支払手形及び買掛金	4,268	17,471	▲13,203
短期借入金	3,966	6,486	▲2,520
その他	1,346	4,967	▲3,621
固定負債	1,310	1,444	▲134
負債合計	10,891	30,369	▲19,478
資本合計	28,101	32,391	▲4,290
負債資本合計	38,992	62,760	▲23,768

I. 09年2月期 決算概要

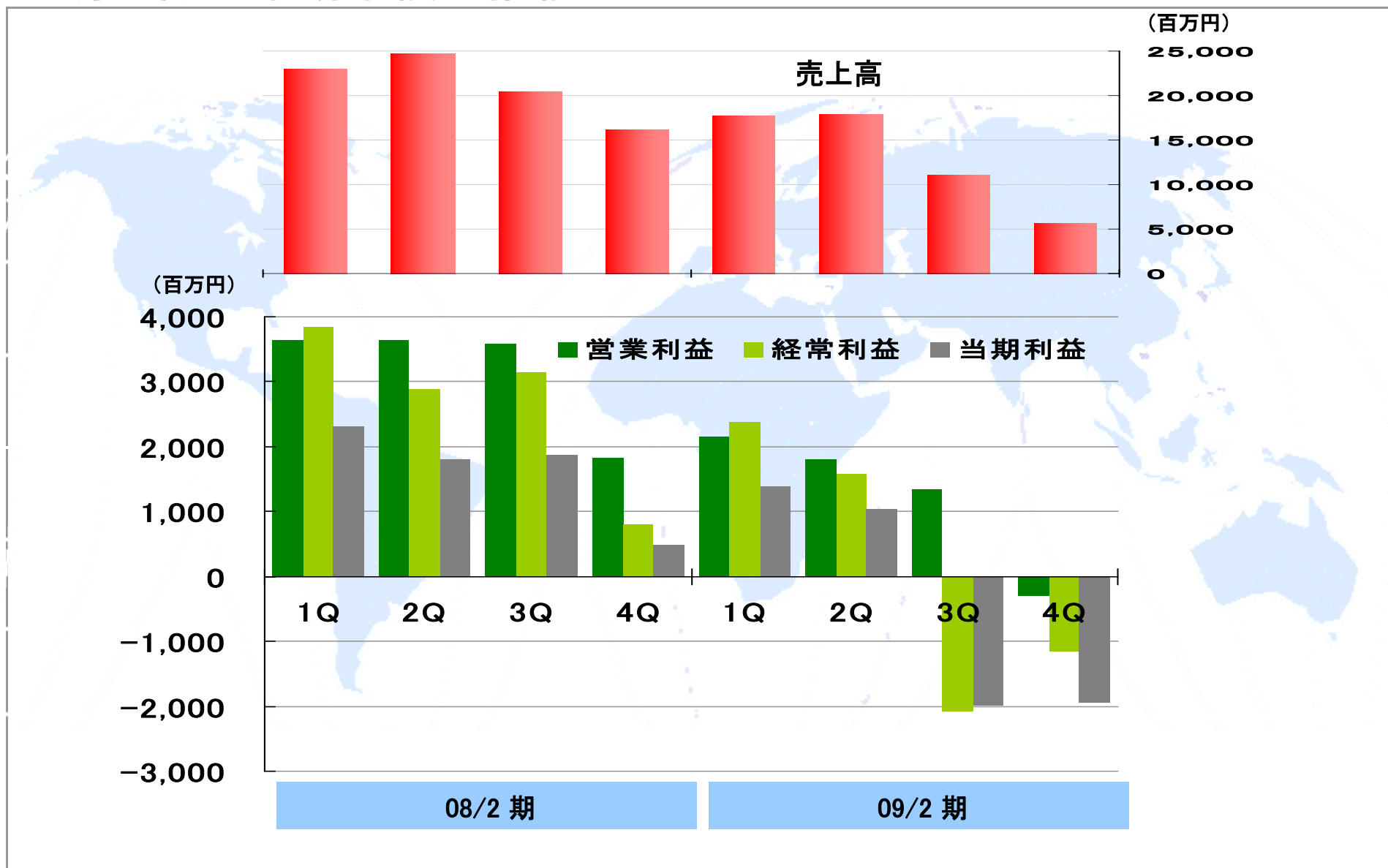
◆ 連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	09/2期	08/2期	増減額
営業キャッシュフロー	▲1,283	5,570	▲6,853
投資キャッシュフロー	37	▲2,563	2,600
財務キャッシュフロー	▲2,544	▲990	▲1,554
現金及び同等物に係る換算差額	627	▲1,045	1,672
現金及び同等物の増減額	▲3,163	970	▲4,133
現金及び同等物の期末残高	2,419	5,583	▲3,164

I. 09年2月期 決算概要

◆ (参考) 四半期業績の推移



◆ 緊急収益改善策の内容

【1】内作取り入れによる外注加工費の削減

- ・溶接、機械加工の内作取り入れを実施

【2】経費見直しによる削減

【3】生産ラインの統合

- ・2009年1月にラインの統合を完了

【4】人件費削減、希望退職者募集

- ・役員報酬の減額、従業員給与の減額、希望退職者の募集、派遣社員等の削減、残業抑制等により、2010年2月期の人件費は対前年比7億円削減

◆ 業績見通しのポイント

① 需要動向

- 北米、欧州とも景気後退及び住宅市場の調整は今後も続く
- 米国での金融市場の混乱は欧州へも広がり、実体経済にも影響
- 中国市場は堅調に推移

② 販売台数の見通し

- 中国での販売台数は増加するが、主要市場である北米及び欧州の減少幅が大きく5割減

③ 利益見通し

- 効率向上、内作取込み、海外調達強化等を進めるものの、需要の低迷と外国為替相場が円高に推移する予想から、下期回復を見込むも通期では営業損失の見通し

Ⅱ. 10年2月期の見通しについて

TAKEUCHI

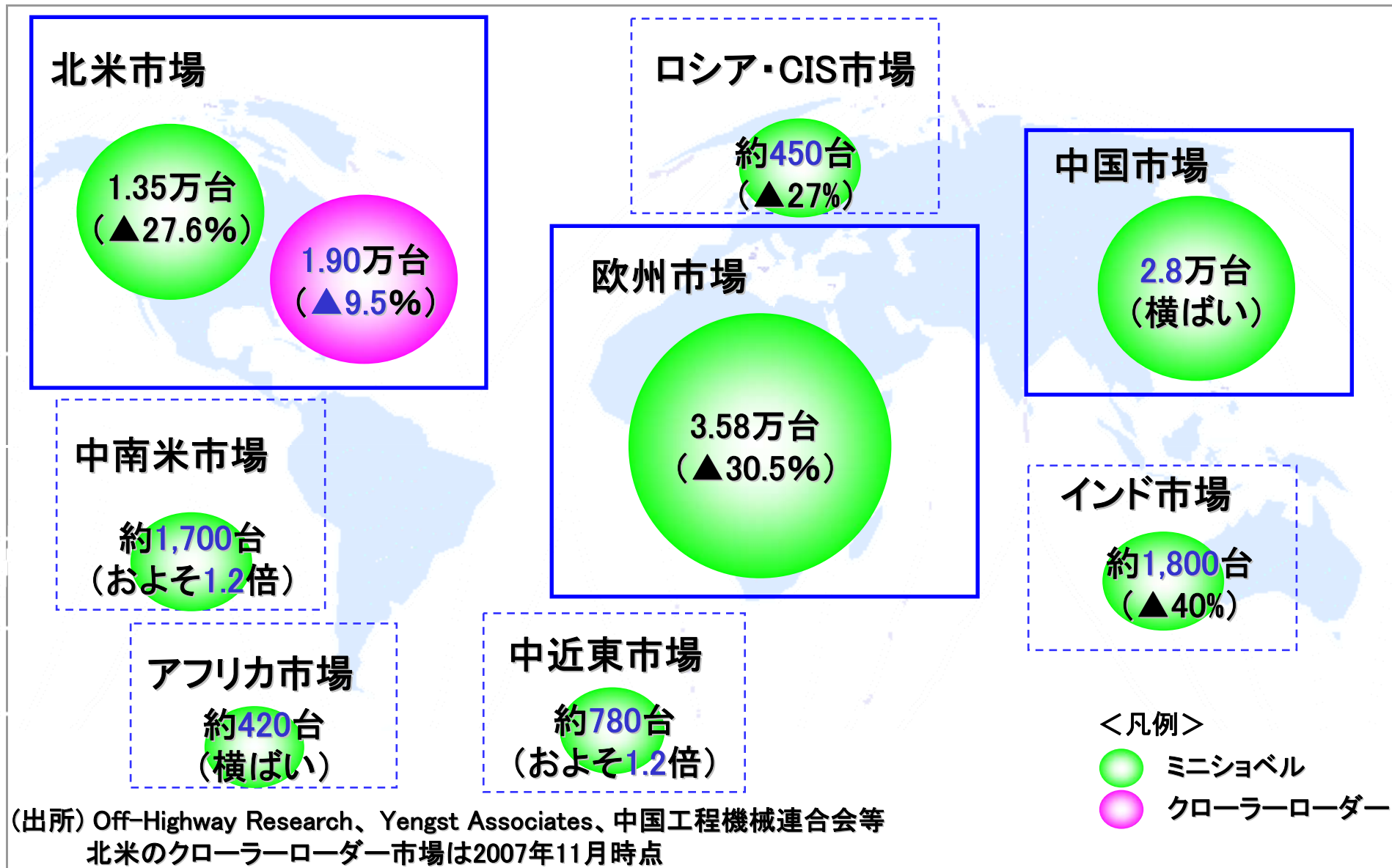
◆ 連結業績

(百万円)

	10/2期					09/2期
	予想	上期予想	前年同期比 伸び率	下期予想	前年同期比 伸び率	実績
売上高	24,900	10,300	▲52.5%	14,600	▲12.8%	52,424
営業利益	▲300	▲420	—	120	▲91.1%	5,000
経常利益	▲240	▲310	—	70	—	714
当期利益	▲620	▲540	—	▲80	—	▲1,492
設備投資額	367	108		259		1,979
減価償却費	810	384		426		1,049
円 / 米ドル	98.00					102.81
円 / ポンド	140.00					190.58
円 / ユーロ	130.00					152.07
円 / 人民元	14.00					14.84
1株当たり配当金	0円	0円		0円		7円

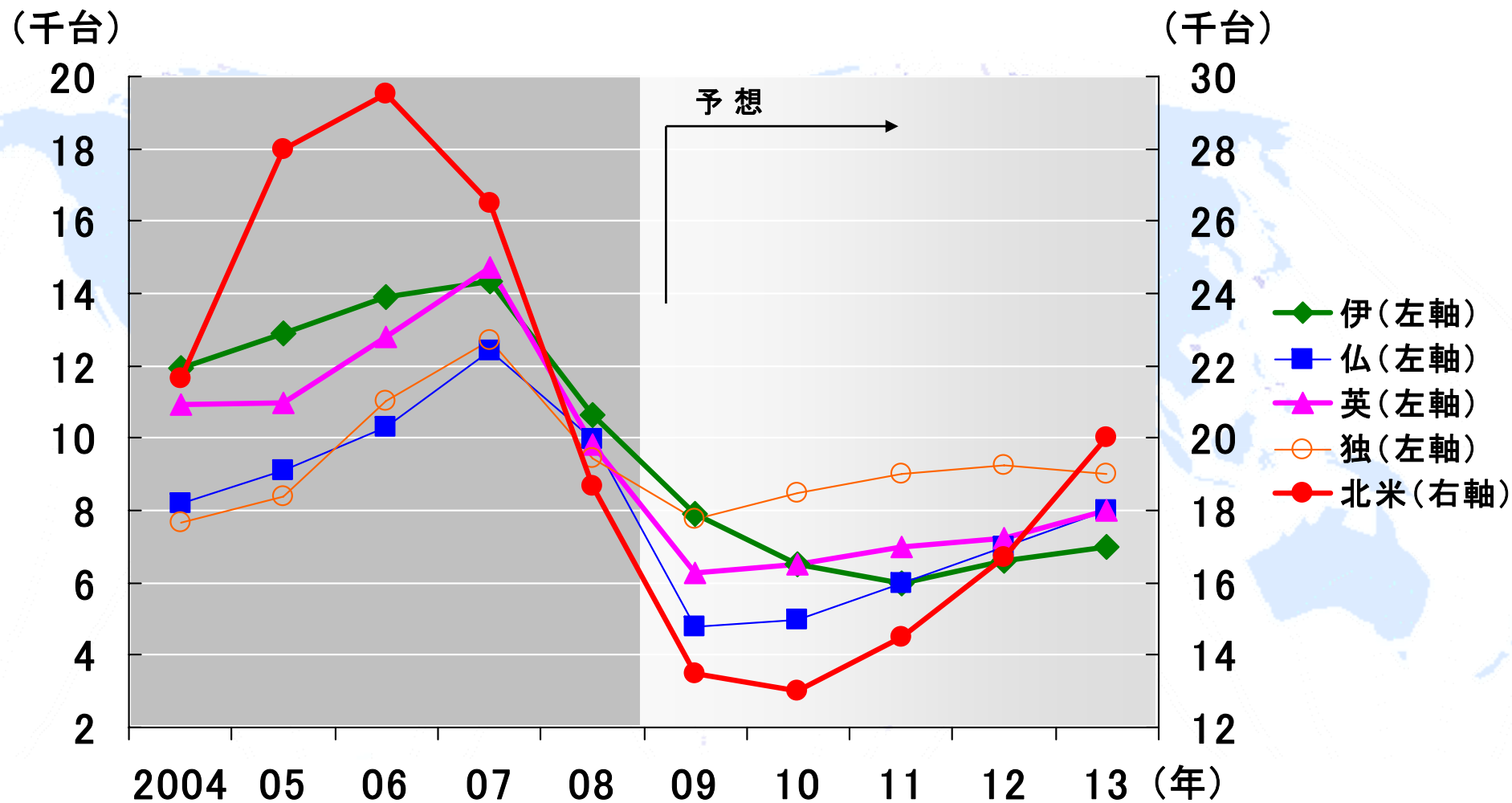
Ⅲ. 今後の市場見通しと重点取組み

◆ 09年の市場見通し 概観(カッコ内は前年比伸び率)



Ⅲ. 今後の市場見通しと重点取組み

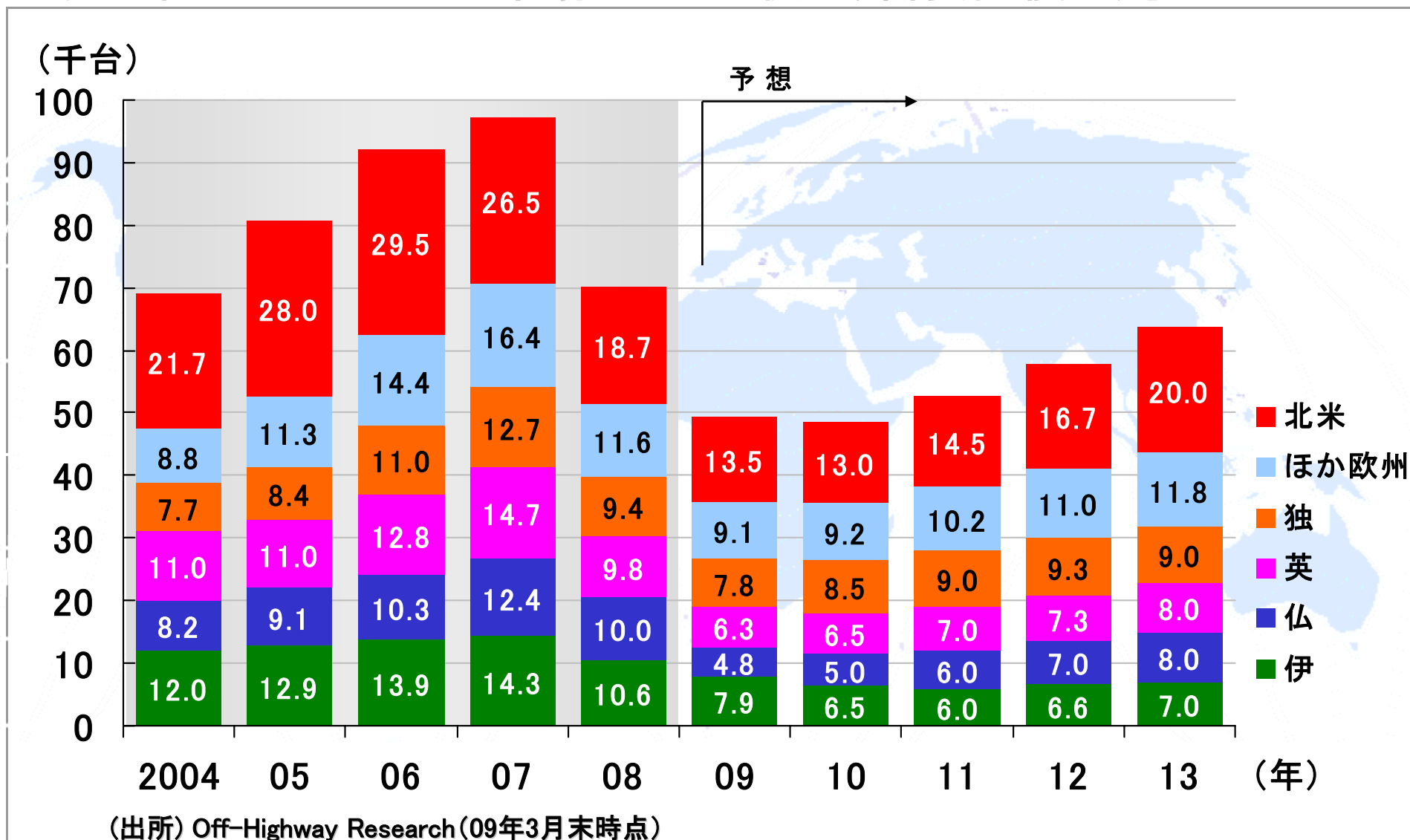
◆ 先進国のミニショベル市場：底入れ後も、需要回復は鈍い



(出所) Off-Highway Research (09年3月末時点)

Ⅲ. 今後の市場見通しと重点取組み

◆ 先進国のミニショベル市場：底入れ後も、需要回復は鈍い



◆ 製品開発：環境対応機種に注力

【1】リチウムイオンバッテリー式ミニショベル

- ・2006年4月に開発し、世界各地で高評価
- ・2011年にモニター機を発表、2012年から量産、発売開始へ

- 小型ミニショベルでは、電池式が求められている
(中・大型機ではハイブリッド機が選好される傾向)
- 欧州市場では、リチウムイオンへのニーズが圧倒的

< TAKEUCHI 製品の特長 >

- ・排気ガスを出さないため換気設備が不要
- ・高いエネルギー効率(対ディーゼルエンジン仕様の約2倍以上、当社比)
- ・電気ケーブル不要、短時間の充電で長時間の稼働が可能
- ・エンジンオイルやエレメント交換が不要で、保守費用と産業廃棄物が低減
- ・ランニングコストの削減(対ディーゼルエンジン仕様の1/5程度、当社比)
- ・電動モータ駆動により低騒音、低振動を実現

環境省 平成21(2009)年度 地球温暖化対策技術開発事業
省エネ対策技術実用化開発分野で補助金採択案件に内定

▶ TAKEUCHI の
強みを最大限に発揮



◆ 製品開発：環境対応機種に注力

【2】第4次排ガス規制対応機種

- ・2012年からの 大型機(当社製品)適用に合わせてフルモデルチェンジ
- ・2013年からの 中型機(当社製品)適用に合わせてフルモデルチェンジ

【3】中国市場向け製品の開発、ラインアップの充実

- ・4トン、7トン、13トンクラスの製品を生産中
- ・本年(2009年)秋ごろまでに現地需要に応じて6トンクラスの製品を投入予定

◆トピックス

豊田通商株式会社との資本業務提携

- 2009年4月15日 資本業務提携契約を締結
1,023千株(6.7%)、621百万円の第三者割当増資を実施(4月30日)

資本業務提携の目的

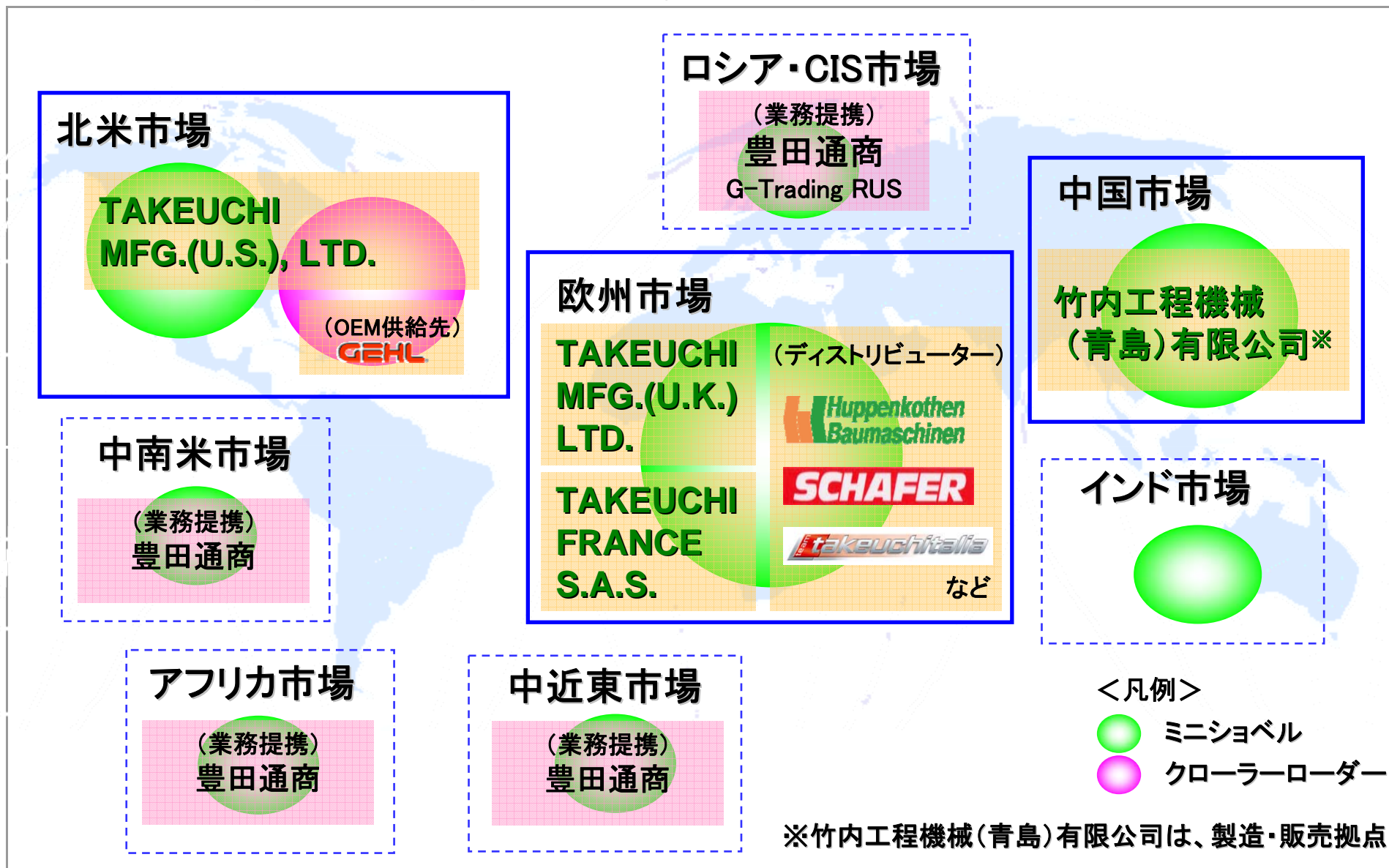
- 両社の建設機械事業の発展と拡大
お互いの得意分野を生かした共同事業創出への取り組み
シナジー効果の発揮

提携内容の骨子

- 共同事業創出への取組
新規マーケットの開拓と既存マーケット(北米、欧州)の強化
(当面の重点市場はブラジル及びその他中南米、ロシア、中近東、アフリカ)
- シナジー効果の発揮
豊田通商の生産調達、物流、IT機能、販売網と当社の技術力、製造力、販売力を
組合せバリューチェーンの構築と機能強化

Ⅲ. 今後の市場見通しと重点取組み

◆ 販売網の強化：特に新興国市場の開拓に注力



IV. 企業理念

TAKEUCHI

◆ 世界初から世界の TAKEUCHI へ

- ・私たちは、創造、挑戦、協調の精神で切磋琢磨し TAKEUCHI のものづくりを追求します。
- ・グローバルな視野と感覚をもって、お客さまに信頼される商品とサービスを提供します。
- ・一人ひとりがもつ力を活かし、地球にやさしく、豊かな社会の実現に貢献します。

創造

豊かな感性をもって、ニーズに応えた商品開発をする

挑戦

夢と若さをもって、より高い目標に向かって果敢に行動する

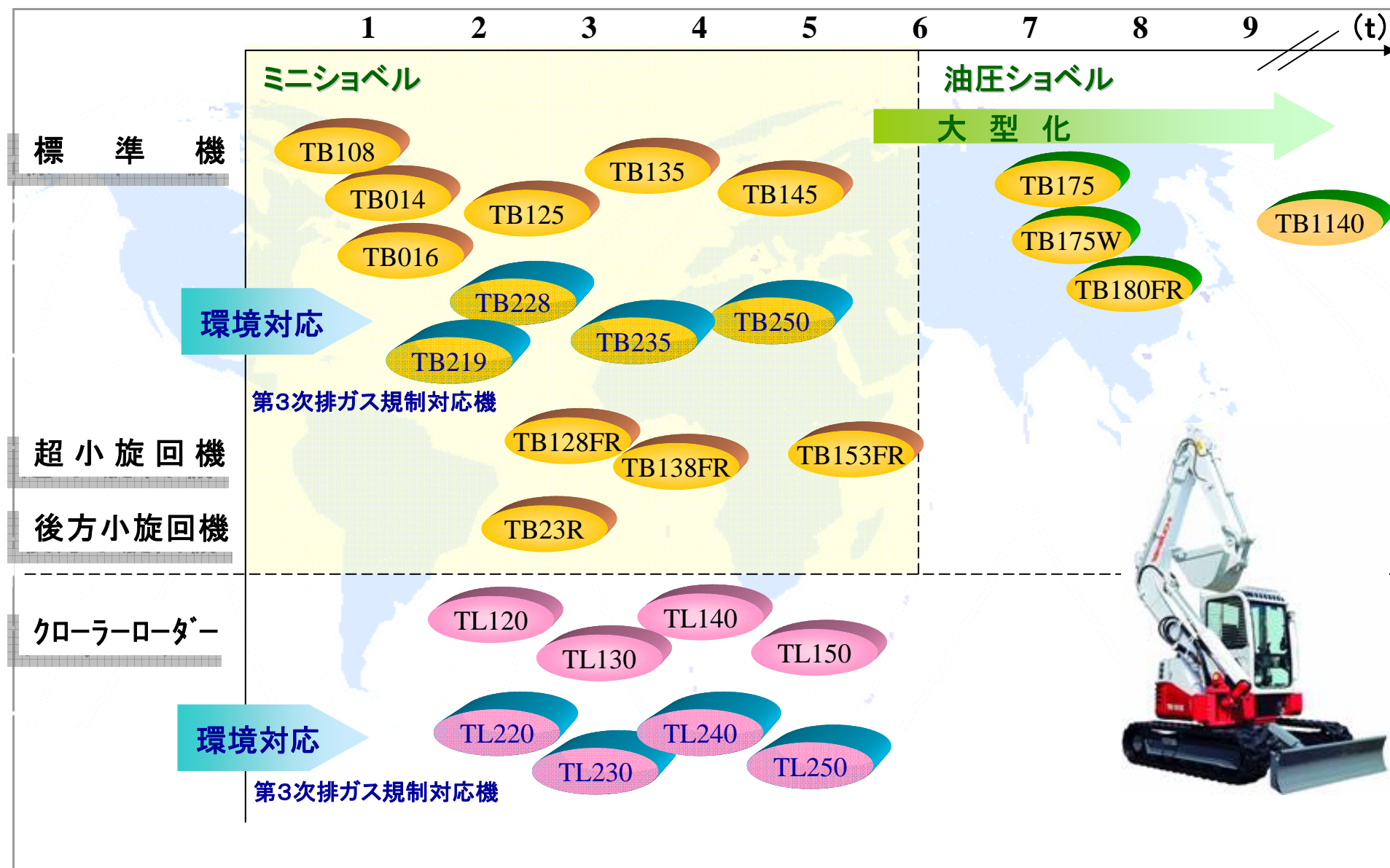
協調

和と思いやりの心をもって、調和の取れた社会との共生を図る

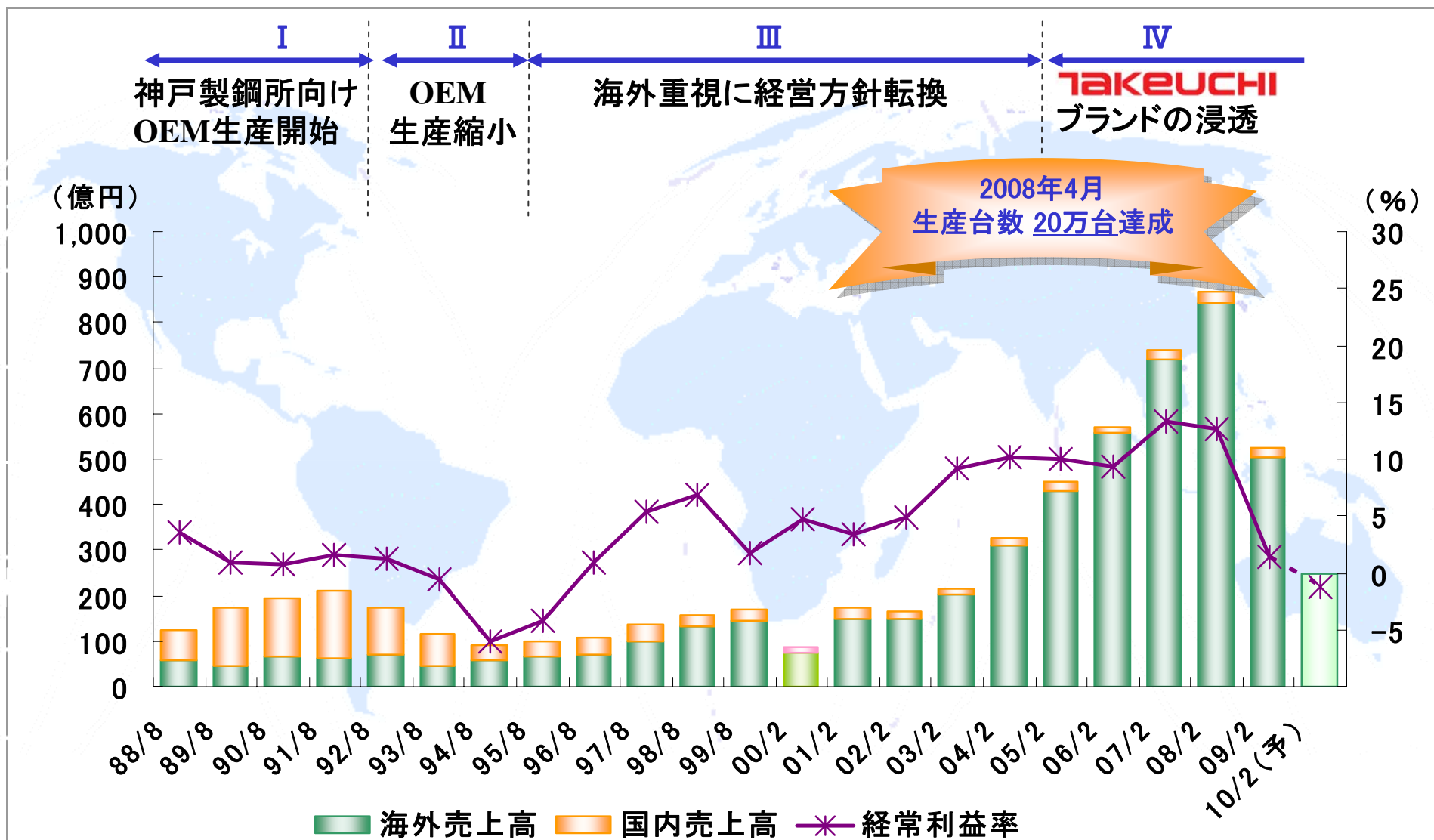
欧米ブランドの TAKEUCHI から世界ブランドの TAKEUCHI へ

[参考]製品ラインナップ

TAKEUCHI



[参考]売上高、経常利益率の推移



(注) 00/2は6ヶ月決算、01/2以降は連結ベース

お問い合わせ先

株式会社 竹内製作所

総務部

TEL:0268-71-8001

FAX:0268-81-1127

E-mail:ir@takeuchi-mfg.com

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。